

# 官報號外

昭和五年五月九日

○第五十八回  
帝國議會貴族院議事速記錄第十號

昭和五年五月八日(木曜日)午前十時八分  
開議

議事日程 第十號  
昭和五年五月八日

午前十時開議

第一 國務大臣ノ演説エ關スル件 (第  
九日)

第二 市町村義務教育費國庫負擔法中  
改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第三 輸出補償法案(政府提出、衆議院  
送付)

第四 賠償金特別會計法中改正法律案  
(政府提出、衆議院送付)

第五 製鐵所特別會計法中改正法律案  
(政府提出、衆議院送付)

第六 關稅定率法中改正法律案  
(政府提出、衆議院送付)

第七 朝鮮私設鐵道補助法中改正法律  
(政府提出、衆議院送付)

第八 第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 第一讀會

第十 第一讀會

第十一 第一讀會

第十二 第一讀會

第十三 第一讀會

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案  
正規

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案  
正規  
市町村義務教育費國庫負擔法中左ノ通改  
圓ニ改ム

本法ハ昭和五年度分國庫支出金ヨリ之ヲ  
適用ス

〔國務大臣田中隆三君演壇ニ登ル〕

●國務大臣(田中隆三君) 市町村義務教育  
費國庫負擔法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ  
御説明申上ゲマス、市町村義務教育費ノ一  
部分ヲ國庫ニ於テ負擔スルト云フ此法律案  
ハ、制定以來屢々改正セラレマシテ、當議  
場ニ於テモ御審議ヲ願ツテ居リマシタコト  
ハ御承知ノ通リデゴザイマス、而シテ其度  
ノ改正案ハ要スルニ負擔ノ金額ノ改正デ  
ゴザイマシテ、最初法律ノ生レ出デマシタ時  
ノ金額ハ一千萬圓デゴザイマシタ、ソレガ其  
後四千萬圓ニナリ、七千万圓ニ變り、ソレ  
カラ此前ニ、昭和二年ト記憶シテ居リマス  
ガ、其時ニ七千五百萬圓ニ改正セラレタノ  
ガ現行法デゴザイマス、然ルニ其後市町村  
ノ尋席小學校ノ教員俸給ガ段々増エテ參リ  
マシテ、今日ニ於テ市町村ノ負擔甚ダ輕カ  
ラザルモノガアルト云フコトヲ認メマシテ、  
此度更ニ一千万圓ヲ加ヘテ八千五百萬圓ト  
スルト云ノガ、此法律案ノ改正デゴザイマ  
ス、ドウゾ御審議ノ上御協賛アラムコトヲ  
御願ヒ申上ゲマス

●議長(公爵德川家達君) 本案ニ付テ質疑  
ノ通告ガゴザイマシタカラ、通告順ニ依リ  
マシテ發言ヲ許シマス、森田福市君

〔森田福市君演壇ニ登ル〕 本案ニ付テ質疑  
ノ通告ガゴザイマシタカラ、通告順ニ依リ  
マシテ發言ヲ許シマス、森田福市君

●議長(公爵德川家達君) 本件ニ付テ質疑  
ノ通告ガゴザイマシタカラ、通告順ニ依リ  
マシテ發言ヲ許シマス、森田福市君

〔森田福市君演壇ニ登ル〕 本件ニ付テ質疑  
ノ通告ガゴザイマシタカラ、通告順ニ依リ  
マシテ發言ヲ許シマス、森田福市君

●議長(公爵德川家達君) 本件ニ付テ質疑  
ノ通告ガゴザイマシタカラ、通告順ニ依リ  
マシテ發言ヲ許シマス、森田福市君

〔森田福市君演壇ニ登ル〕 本件ニ付テ質疑  
ノ通告ガゴザイマシタカラ、通告順ニ依リ  
マシテ發言ヲ許シマス、森田福市君

官報號外

昭和五年五月九日

貴族院議事速記錄第十號 議長ノ報告 會議 議事日程變更 市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案 第一讀會

賣タリシテ、役場ニ納メテ居ル所ノ稅金ハ  
ドウデアルカト云フト、是ハ一錢一厘ダニ  
減テ居ナイノアリマス、國民ノ收入ハ現  
政府ノ御蔭デ減シテ戴キマシタガ、國民ノ  
負擔ハ更ニ減テ居ナイ、即チ國稅ニ於テモ  
市町村稅ニ於テモ一錢一厘モ負擔ハ減テ  
居リマセヌ、否寧ロ殖エテ居ル位デアリマ  
ス、收入ノミヲ減ス政策ヲ御執リニナッテ、  
サウシテ國民ノ支出ノ方ニ向シテ更ニ意ヲ  
用キラレヌト云フコトハ、甚ダ私ハ要領ヲ  
得タ政治トハ申上ゲ兼ルノデアリマス、今  
日ノ地方ノ國民ハ節約トカ儉約トカ緊縮ト  
カ云フヤウナコトハ通り越シテ、モウ始末  
ヲシヤウニモ、恐ラク今日地方ノ農民ハ僅  
カナ生活費ニスラ困テ居ルノミナラズ、只  
今申上ゲマスルヤウニ本年ノ如キハ繩ノ如  
キモノデモ、モウ直接桑ヲ買ウテ銅フコト  
ハ皆闇ル、從テ請負飼ニシヤウデハナイカ  
ト云フヤウナコトスラ唱ヘラレテ居ルノデ  
アリマス、恐ク五十掛以内ニ繩ノ相場ガ決  
マルノデアリマセウザウ云フ場合ニ今日ノ樂  
ヲ以テ銅ウタノデハ引合フ道理ガナイノデ  
アリマス、從テ此副業ノ收入ニ依テ公課  
ノ負擔ヲスルト云フコトハ到底見込ハナ  
イノデアリマス、サウ云フ風デアルカラ  
國民ノ收入ト云フモノハ、農村ガ一番疲弊  
シテ居リマス、或ハ漁村モ亦然リデアリマ  
ス、農村漁山村ノ疲弊ノ結果トシテ購買  
力ヲ減退イタシマス爲ニ、地方ノ都市ハ無  
論之ニ從テ不景氣ニナルト云フコトハ  
多言ヲ要セヌ問題アリマス、農村ノ購買  
力ガアテコソ都市ノ景氣ガ持テルノデア  
リマス、農村ノ購買力ガ無クナレバ都市ニ  
不景氣ヲ來スト云フコトハモウ當然ノ理デ  
アリマス、其農村ノ收入ヲ、政府ハ物價ヲ  
下ゲ勞働質ヲ下ゲルト云フ目的ノ爲ニ非常  
ニ收入ノ減ズル政策方法ヲ御執リニナッテ、  
サウシテ國民ノ負擔スル所謂支出ノ方面  
ニ向シテハ何等考慮遊バサヌ、併シ政府ハ必  
ズヤソレガ爲ニ本案ノ如キモノヲ提案シタ

ノデアルト仰シヤルカモ知レマセヌガ、僅  
カ一千万圓位ナ金ヲ今日御増シニナッタ所  
ニ、二階カラ目薬ト云フカ、天井カラ足ヲ  
居リマセヌ、否寧ロ殖エテ居ル位デアリマ  
ス、收入ノミヲ減ス政策ヲ御執リニナッテ、  
サウシテ國民ノ支出ノ方ニ向シテ更ニ意ヲ  
用キラレヌト云フコトハ、甚ダ私ハ要領ヲ  
得タ政治トハ申上ゲ兼ルノデアリマス、今  
日ノ地方ノ國民ハ節約トカ儉約トカ緊縮ト  
カ云フヤウナコトハ通り越シテ、モウ始末  
ヲシヤウニモ、恐ラク今日地方ノ農民ハ僅  
カナ生活費ニスラ困テ居ルノミナラズ、只  
今申上ゲマスルヤウニ本年ノ如キハ繩ノ如  
キモノデモ、モウ直接桑ヲ買ウテ銅フコト  
ハ皆闇ル、從テ請負飼ニシヤウデハナイカ  
ト云フヤウナコトスラ唱ヘラレテ居ルノデ  
アリマス、恐ク五十掛以内ニ繩ノ相場ガ決  
マルノデアリマセウザウ云フ場合ニ今日ノ樂  
ヲ以テ銅ウタノデハ引合フ道理ガナイノデ  
アリマス、從テ此副業ノ收入ニ依テ公課  
ノ負擔ヲスルト云フコトハ到底見込ハナ  
イノデアリマス、サウ云フ風デアルカラ  
國民ノ收入ト云フモノハ、農村ガ一番疲弊  
シテ居リマス、或ハ漁村モ亦然リデアリマ  
ス、農村漁山村ノ疲弊ノ結果トシテ購買  
力ヲ減退イタシマス爲ニ、地方ノ都市ハ無  
論之ニ從テ不景氣ニナルト云フコトハ  
多言ヲ要セヌ問題アリマス、農村ノ購買  
力ガアテコソ都市ノ景氣ガ持テルノデア  
リマス、農村ノ購買力ガ無クナレバ都市ニ  
不景氣ヲ來スト云フコトハモウ當然ノ理デ  
アリマス、其農村ノ收入ヲ、政府ハ物價ヲ  
下ゲ勞働質ヲ下ゲルト云フ目的ノ爲ニ非常  
ニ收入ノ減ズル政策方法ヲ御執リニナッテ、  
サウシテ國民ノ負擔スル所謂支出ノ方面  
ニ向シテハ何等考慮遊バサヌ、併シ政府ハ必  
ズヤソレガ爲ニ本案ノ如キモノヲ提案シタ

ノデアルト仰シヤルカモ知レマセヌガ、僅  
カ一千万圓位ナ金ヲ今日御増シニナッタ所  
ニ、二階カラ目薬ト云フカ、天井カラ足ヲ  
居リマセヌ、否寧ロ殖エテ居ル位デアリマ  
ス、收入ノミヲ減ス政策ヲ御執リニナッテ、  
サウシテ國民ノ支出ノ方ニ向シテ更ニ意ヲ  
用キラレヌト云フコトハ、甚ダ私ハ要領ヲ  
得タ政治トハ申上ゲ兼ルノデアリマス、今  
日ノ地方ノ國民ハ節約トカ儉約トカ緊縮ト  
カ云フヤウナコトハ通り越シテ、モウ始末  
ヲシヤウニモ、恐ラク今日地方ノ農民ハ僅  
カナ生活費ニスラ困テ居ルノミナラズ、只  
今申上ゲマスルヤウニ本年ノ如キハ繩ノ如  
キモノデモ、モウ直接桑ヲ買ウテ銅フコト  
ハ皆闇ル、從テ請負飼ニシヤウデハナイカ  
ト云フヤウナコトスラ唱ヘラレテ居ルノデ  
アリマス、恐ク五十掛以内ニ繩ノ相場ガ決  
マルノデアリマセウザウ云フ場合ニ今日ノ樂  
ヲ以テ銅ウタノデハ引合フ道理ガナイノデ  
アリマス、從テ此副業ノ收入ニ依テ公課  
ノ負擔ヲスルト云フコトハ到底見込ハナ  
イノデアリマス、サウ云フ風デアルカラ  
國民ノ收入ト云フモノハ、農村ガ一番疲弊  
シテ居リマス、或ハ漁村モ亦然リデアリマ  
ス、農村漁山村ノ疲弊ノ結果トシテ購買  
力ヲ減退イタシマス爲ニ、地方ノ都市ハ無  
論之ニ從テ不景氣ニナルト云フコトハ  
多言ヲ要セヌ問題アリマス、農村ノ購買  
力ガアテコソ都市ノ景氣ガ持テルノデア  
リマス、農村ノ購買力ガ無クナレバ都市ニ  
不景氣ヲ來スト云フコトハモウ當然ノ理デ  
アリマス、其農村ノ收入ヲ、政府ハ物價ヲ  
下ゲ勞働質ヲ下ゲルト云フ目的ノ爲ニ非常  
ニ收入ノ減ズル政策方法ヲ御執リニナッテ、  
サウシテ國民ノ負擔スル所謂支出ノ方面  
ニ向シテハ何等考慮遊バサヌ、併シ政府ハ必  
ズヤソレガ爲ニ本案ノ如キモノヲ提案シタ

ノデアルト仰シヤルカモ知レマセヌガ、僅  
カ一千万圓位ナ金ヲ今日御増シニナッタ所  
ニ、二階カラ目薬ト云フカ、天井カラ足ヲ  
居リマセヌ、否寧ロ殖エテ居ル位デアリマ  
ス、收入ノミヲ減ス政策ヲ御執リニナッテ、  
サウシテ國民ノ支出ノ方ニ向シテ更ニ意ヲ  
用キラレヌト云フコトハ、甚ダ私ハ要領ヲ  
得タ政治トハ申上ゲ兼ルノデアリマス、今  
日ノ地方ノ國民ハ節約トカ儉約トカ緊縮ト  
カ云フヤウナコトハ通り越シテ、モウ始末  
ヲシヤウニモ、恐ラク今日地方ノ農民ハ僅  
カナ生活費ニスラ困テ居ルノミナラズ、只  
今申上ゲマスルヤウニ本年ノ如キハ繩ノ如  
キモノデモ、モウ直接桑ヲ買ウテ銅フコト  
ハ皆闇ル、從テ請負飼ニシヤウデハナイカ  
ト云フヤウナコトスラ唱ヘラレテ居ルノデ  
アリマス、恐ク五十掛以内ニ繩ノ相場ガ決  
マルノデアリマセウザウ云フ場合ニ今日ノ樂  
ヲ以テ銅ウタノデハ引合フ道理ガナイノデ  
アリマス、從テ此副業ノ收入ニ依テ公課  
ノ負擔ヲスルト云フコトハ到底見込ハナ  
イノデアリマス、サウ云フ風デアルカラ  
國民ノ收入ト云フモノハ、農村ガ一番疲弊  
シテ居リマス、或ハ漁村モ亦然リデアリマ  
ス、農村漁山村ノ疲弊ノ結果トシテ購買  
力ヲ減退イタシマス爲ニ、地方ノ都市ハ無  
論之ニ從テ不景氣ニナルト云フコトハ  
多言ヲ要セヌ問題アリマス、農村ノ購買  
力ガアテコソ都市ノ景氣ガ持テルノデア  
リマス、農村ノ購買力ガ無クナレバ都市ニ  
不景氣ヲ來スト云フコトハモウ當然ノ理デ  
アリマス、其農村ノ收入ヲ、政府ハ物價ヲ  
下ゲ勞働質ヲ下ゲルト云フ目的ノ爲ニ非常  
ニ收入ノ減ズル政策方法ヲ御執リニナッテ、  
サウシテ國民ノ負擔スル所謂支出ノ方面  
ニ向シテハ何等考慮遊バサヌ、併シ政府ハ必  
ズヤソレガ爲ニ本案ノ如キモノヲ提案シタ

ノデアルト仰シヤルカモ知レマセヌガ、僅  
カ一千万圓位ナ金ヲ今日御増シニナッタ所  
ニ、二階カラ目薬ト云フカ、天井カラ足ヲ  
居リマセヌ、否寧ロ殖エテ居ル位デアリマ  
ス、收入ノミヲ減ス政策ヲ御執リニナッテ、  
サウシテ國民ノ支出ノ方ニ向シテ更ニ意ヲ  
用キラレヌト云フコトハ、甚ダ私ハ要領ヲ  
得タ政治トハ申上ゲ兼ルノデアリマス、今  
日ノ地方ノ國民ハ節約トカ儉約トカ緊縮ト  
カ云フヤウナコトハ通り越シテ、モウ始末  
ヲシヤウニモ、恐ラク今日地方ノ農民ハ僅  
カナ生活費ニスラ困テ居ルノミナラズ、只  
今申上ゲマスルヤウニ本年ノ如キハ繩ノ如  
キモノデモ、モウ直接桑ヲ買ウテ銅フコト  
ハ皆闇ル、從テ請負飼ニシヤウデハナイカ  
ト云フヤウナコトスラ唱ヘラレテ居ルノデ  
アリマス、恐ク五十掛以内ニ繩ノ相場ガ決  
マルノデアリマセウザウ云フ場合ニ今日ノ樂  
ヲ以テ銅ウタノデハ引合フ道理ガナイノデ  
アリマス、從テ此副業ノ收入ニ依テ公課  
ノ負擔ヲスルト云フコトハ到底見込ハナ  
イノデアリマス、サウ云フ風デアルカラ  
國民ノ收入ト云フモノハ、農村ガ一番疲弊  
シテ居リマス、或ハ漁村モ亦然リデアリマ  
ス、農村漁山村ノ疲弊ノ結果トシテ購買  
力ヲ減退イタシマス爲ニ、地方ノ都市ハ無  
論之ニ從テ不景氣ニナルト云フコトハ  
多言ヲ要セヌ問題アリマス、農村ノ購買  
力ガアテコソ都市ノ景氣ガ持テルノデア  
リマス、農村ノ購買力ガ無クナレバ都市ニ  
不景氣ヲ來スト云フコトハモウ當然ノ理デ  
アリマス、其農村ノ收入ヲ、政府ハ物價ヲ  
下ゲ勞働質ヲ下ゲルト云フ目的ノ爲ニ非常  
ニ收入ノ減ズル政策方法ヲ御執リニナッテ、  
サウシテ國民ノ負擔スル所謂支出ノ方面  
ニ向シテハ何等考慮遊バサヌ、併シ政府ハ必  
ズヤソレガ爲ニ本案ノ如キモノヲ提案シタ

レドモ、之ニ付キマシテハ私別ニ御答ヲ致  
執<sup>フ</sup>テ居ルト云フ意味ノ御質問デアリマシ  
タガ、政府ハ決シテ農村ノ收入ヲ減ゼシム  
ル如キ政策ヲ執<sup>フ</sup>テ居ル譯デアリマセヌ、一  
般ノ國民ノ收入ガ減ジテ居ルコトハ是ハ事  
實デアリマス、併ナガラ政府ハ特ニ農村ノ  
收入ヲ減ゼシムル如キ政策ハ執<sup>フ</sup>テ居リマ  
セヌ、御質問ニハ教育費ノ増額ハ國民負擔  
ノ輕減ノ目的デアラウト思フガ、果シテ其  
目的デアルナラバ何故ニ國稅、例へバ消費  
稅、直接稅ト云フ如キ國稅ノ輕減ヲシナイ  
カト云フ意味ノ御質問ガアリマシタ、政府  
ハ今日ノ國民ノ負擔ハ決シテ輕クナイト者  
ヘテ居リマス、併ナガラ國稅ノ負擔ト地方  
稅ノ負擔ト比較イタシマシテ、ドチラガ重  
イノデアラウカ、比較的ニ何方ガ重イ方者  
ヘテ見マスト、此十數年來、國稅ノ負擔ノ  
増シマシタ其割合ト、地方稅ノ負擔ノ増シ  
マシタ其割合トヲ比較イタシマスト云フモ  
ト、國稅ノ負擔ノ増加ノ率ヨリモ、地方稅  
ノ負擔ノ増加ノ率ガ遙ニ多イノデアリマ  
ス、從テ此場合ニ於テハ、先以テ政府ハ  
地方稅負擔ノ輕減ヲスルト云フコトガ急務  
デアリマス、固ヨリ出來得ルコトデアリマ  
スルナラバ、將來ニ向テ國稅ノ負擔ノ輕減  
ヲスル爲ニハ、教育費ノ増加ニ依<sup>フ</sup>テ其目  
的ヲ達スルコトガ適當デアラウト信ジタ  
デアリマス、固ヨリ出來得ルコトデアリマ  
ス、次ニハ教育費増額ノ結果、其交付ヲ受  
ケタル市町村ハ如何ナル方法ニ依<sup>フ</sup>テ、市町  
村稅ノ負擔ノ輕減ヲスルト云フ考デアリマ  
ス、次ニ御質問ノ中ニアリマスルガ、是ハ御説  
ノヤウニ更正豫算ヲ以テ、負擔ノ輕減ヲ圖  
リ、其地方稅ノ輕減ヲスルト云フ考デアリマ  
ス、此際ニハ先づ緊急ト考ヘマシタ市町  
町村稅ノ負擔ノ輕減ヲ計畫シタノデアリマ  
ス、次ニハ教育費増額ノ結果、其交付ヲ受

所ノ一般ノ歳入ノ見積方ガ過大デハナイカト云フ御質問デアリマス、是ハ歳入ノ各官廳ニ於テソレゾレ適當ナル基礎ニ依テ、ソレゾレ適當ナル基礎ニ依テ、アルノデアリマス、此數字上ノ見積ニ付キマシテハ、何レ豫算委員會等ニ於テ詳シク説明申上ガル機會ガアラウカト存ジマス、次ニ小學校ノ教員ノ初任給ヲ減ラシテハイケナイト云フコトヲ文部省カラ通牒ガ出シテアルト云フコトデハナイカト云フ御質問デアリマシタガ、此點ニ付キマシテハ、文部大臣ヨリ御答ヲスルコトニ致シマス、最後ニ官吏ノ減俸ノコトニ付テノ御質問ガアリマシタ、是ハ只今ノ御質問ノ御言葉ニモアリマシタ通り、當時政府ハ緊縮ノ方針ニ對スル政府ノ決意ヲ示スト同時ニ、出來得ル限り豫算編成ノ財源ヲ得タイト云フ考ヲ以テ計畫ヲ致シマシタガ、世論ノ趨向ニ鑑ミマシテ之ヲ反映メタノト云フ考ハ有テ居リマセヌ、大要ノ御答ト致シマス

レドモ、マダ是デハ十分ト言ハレヌノミラズ、ナカ／＼其外ノ俸給者ノヤウニ其ノ増給ト云フモノハ行届キマセヌノデス初任給ハ相當高クテモ永ク久シク或一定額ニ固定シテ居ルト云フヤウナコトガ國際ノ事實デアリマスノデ、ソレヲ此際初給ヲ引下ゲテ、全般ノ上カラ見テ、教員優ノ途ニ悪影響ヲ及ボスヤウナコトガアッハ、教育上相當考慮シナケレバナラヌコト認メマシテ、只今申上ゲマスル通り、  
任給ノ引上ゲト云フコトハ、十分ニ一ツサ云フコトノナカラムヤウニ考慮シテ貰ヒイト云フ通牒ヲ發シタノデアリマス、只申上ゲマシタ理由ニ依テ、其事ハ教育上メテ必要ナルコトト當局ニ於テハ確信イシテ居リマス

◎森田福市君 簡單デアリマスカラ此席ラ申上ゲマス、總理大臣ハ農村ノ不景氣來スヤウナ、收入ガ減ズルヤウナ政策ヲ執タコトハナイト仰シヤッタノデアリマスガ金ノ解禁ヲスル爲ニハ緊縮節約ノ必要ガ

ナチ後ノ、實遇任初極今タ夕カラノデアルカラ收入モ減テモ宜シイ、獨リ月給取りノミ、其收入ヲ多ク取テサウシテ安イ物價デ生活ヲシテ行ク、然ルニ農家ノ負擔ハ變ラズシテ收入ガ減テ宜シイト云フ理窟ヲ見出スコトハ困ルノデアリマス、モウ少シ我々ノ惡意頭ニ分ルヤウニ御説明ガ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ文部大臣ハ教員ノ初任給ハ教育ニ色ミノ影響ヲ來ス虞ガアルカラ下ダナイト云フヤウナ通牒ヲ發シタト仰シヤルノデアリマスガ、然ラバ今日一千萬圓増額シテヤッテモ……教員ノ初任給ヲ普通ノ就職給料率ヨリ高クシテ置イテ、一千万圓増シテヤッテ、地方ハドウ云フ關係ニナルノデアリマセウカ、又私ガ先程述べタヤウニ、高等専門學校ヲ出タル者デモ、四十圓、五十圓デ就職シテ居ルノニ、府縣費ノ負擔ヲ以テ建シテ居リマス所ノ師範學校ノ卒業生ニノミ左様ナ高給ヲ興

(國務大臣田中隆三君演壇ニ登ル)  
國務大臣(田中隆三君) 小學校ノ教員ノ初任給ヲ引下ゲルコトガ甚ダ望マシカラ又コトデアルト云フコトヲ文部省ヨリソレゾレ通牒ヲ發シマシタコトハ事實デゴザイマス、デ御承知ノ通り只今茲ニ御協贊ヲ願テ居リマスル法律案ニ於キマシテモ、亦其法律案ノ依テ生レマシタ臨時教育會議ノ時ノ審議ニ致シマシテモ、教育ノ改善ノ根本義ハドウシテモ優良ナル教員ヲ作ルエアル、サウシテ其優良ナル教員ヲ作ル一ツノ方法トシテ、教員ヲ優遇スル途ヲ十分ユ講ジナケレバナラヌト云フコトカラシテ、教員ノ俸給ノ幾部ヲ國庫ガ之ヲ負擔スルコトニナシタノデアリマス、而シテ教員ノ俸給較シマシテ、低イ標準ニアッタ云フコトハ事實デアルノデアリマス、ソレハ其後漸次引上ゲマシテ、相當ノ額ニハナリマシタケ

ル、緊縮節約ノ結果トシテ國民ノ收入ガ  
ズル、即チ物價ガ安クナル、勞働資銀ガ  
ルカラ國民ノ收入ガ減ルノデアリマス、  
價ヲ下ゲテ、所謂米價ヤ其他農產物、林  
物、漁產物等ヲ下ゲテモ、尙且ツ不景氣  
來スヤウナ政策ナイト云フコトヲ仰シ  
ルコトハ、我ニハ其意ヲ得ルコトガ出來  
イノデアリマス、併シ政府トシテハ選舉  
他ノ關係上、サウ云フ政策ヲ執ラレタト  
フコトヲ正直ニ仰シヤルコトハ御困難デ  
ラウト思ヒマスカラ、此點ハ敢テ追究イ  
シマセヌ、併シ終リノ時ニ官吏ノ給料ヲ  
下ゲルコトハ考慮シテ居ラヌト仰シヤッ  
ノデアリマスガ、然ラバ一般ノ農民、漁民  
或ハ工商業者、労働者ノ收入ハ減テモ  
價ガ下グテ居ル今日依然トシテ、物價ノ高  
時ノ給料ヲ與ヘテ置クト云フコトガ、今  
政策ニ合致スルモノノデアリマセウカ、ド  
デアリマセウカト云フコトハ、私ハ疑ハザ

案シテ豫算ニ計上セラレタコトデアラウト  
事デハゴザイマシクガ、刑事ノ嫌疑ヲ受ケ  
ラレマシテ、段々ソレガ審理ガ進ムニ從ヒ  
マシテ、豫審法廷ニ廻サレ、遂ニ豫審ノ決  
定ヲ以テ公判ニ移サレルコトニナシタサウ  
デゴザイマス、是ハ誠ニ驚キ入タコトデ  
固ヨリ相當ノ身分アル人、殊ニ文部大臣ノ  
榮職ニモ就カレタ人ニ對スル檢舉理デゴ  
ザイマスカラ、司法部ニ於テハ一層慎重ノ  
審理ヲ盡サレタコト信ジマス、公判ニ移  
サレテモ大方有罪ト判決セラルコトデア  
ラウカト存ジマス、小橋氏ハ人モ知リマス  
通リニ、相當ノ人格識見モアツテ、私共ハ私  
交コソ深クハゴザイマセヌアリマシタガ、  
内務省部内ニ勤務中ハ同僚中ニ於テモ有望  
ナ將來ヲ有スル人ト信ジテ居リマシタ、其  
文部大臣ニ拔擢セラルニ及ンデハ、果シ  
テ濱口首相ハ能ク小橋氏ヲ鑑識シタモノデ  
アルト思フテ、心窃ニ喜悅ニ堪ヘズニ居タ  
次第デゴザイマス、ソレデ早速ニ其就職ノ  
祝辭ヲ贈バ私モ其一人デゴザイマス、然ル  
ニ豈圖ラム、斯様ナ不祥事ガアリマシテ、  
誠ニ御互ニ遺憾ニ堪ヘナイ次第デゴザイマ  
スル、翻シテ見マスルニ、此立憲政治ニハ、  
申ス迄モナク政黨政治ト云フモノハドウシ  
テモ缺クベカラザルモノニナッテ居リマシ  
テ其政黨へ往々ニシテ……無論利益モアリ  
マスケレドモ、害惡モアル、濱口首相ノ如  
キハ最モ此利弊ニ通曉セラレタル御方デア  
ルト存ジマス、小橋氏ノ罪ニ陥リマシタノ  
モ、此政黨ノ操縱トカ選舉界ニ兎角ニ金員  
ヲ融通スルトカ云フコトカラシテ、端ナク  
モ其針路ヲ誤バタノデハナイカト、甚ダ口惜  
シク存ズル次第デゴザイマス、小橋氏ノ先  
人ハ熊本藩士デ相應ニ學識モアリ識見モア  
リ、先文部大臣井上毅氏等モ最モ推稱セラ  
レタ人デ、小橋氏亦同藩士著名ノ人等ニ信  
用ヲ得タ人デゴザイマス、小橋氏ヲ文部省  
ニ奏薦セラレタ責任ニ付テ、過日小久保喜

●議長（公爵徳川家達君） 中村君、小橋君ノ問題ト此法案ト餘り關係ガ無イヤウニ思ヒマスガ、此際ハ此法案ニ付テノ質疑ノ節圍ニ御止メヲ願ヒタイト考ヘマス

●中村純九郎君 承知シマシタ

●議長（公爵徳川家達君） 中村君ハマダ國務大臣ノ演説ニ關スル質疑ノ機會ガアリマスカラ、其時ナラ別デゴザイマスガ……

●中村純九郎君 アリマセヌ……

●議長（公爵徳川家達君） 今朝ハ此法案ニ對スル質疑ト御承知置キヲ請ヒタイト思ヒマス

●中村純九郎君 此本案ハ、事、小橋氏ノ在職中ニ決定シタルモノデアリマスルカ、若シ……其動機ニ付テ私ハ疑ヲ起シタ譯デゴザイマス、本案ハ實ハ政黨上デハ誠ニ便利ナ法案デゴザイマシテ、地方ノ政黨擴張、又有權者操縱等ニハ餘程便宜ノアル法案デアルト、一方カラ考ヘルト存ゼラレマス、何故ナラバ、地方ニ於テ地方稅ノ稅源ト云ノ中デモ學校、其學校ノ中デモ教員ノ俸給ト云フヤウナ廣汎ナコトデナク、地方ノ町村費ト云フヤウナ極ク具體的ノ法案デアリマスルカラシテ、地方ノ有權者ハ之ヲ喜ブコトヲデアラウト存ジマス、斯ノ如キ法案デアリマスルカラ、若シ小橋氏ノ在職中ニ出來上タ此法案デアリマスルトスト、其動機ニ於テ不純ノ嫌ガアリハセナイカト云フコトヲ心配イタンマス、何故ナラバ是マデ小橋氏ト云フモノハ立派ナ人トシテ我ミモ信ジ、總理大臣モ信ジラレテ上奏モアタノデゴザイマセウガ、ソレガ政黨ノ弊……先ホド政黨ノ弊ト申シタガ、其政黨ノ弊ニデモカブレラレタカ、刑事ノ被告ニ、而モ收賄ト云フ破廉恥罪ニ擬セラレクト云フコトデゴザイマス、其氣持ト以テ此法案ガ出来タトシマスレバ、私ハ擔ギ屋ノヤウデゴザイマスルガ、甚ダ忌ミシイ法案デアルト、斯ウ言ハナケレバナリマセヌ、ソレデ此法案ノ

動機、此法案ノ出發點ヲ伺ヒタイノデアリマス、次ニ何故ニ此特別議會ニ急イデ小學校教員俸給分擔額ノ増額、此法案ヲ出サレタモノデアリマスルカ、私ハ今日ノ時局ト云フモノヲ濱口首相ハドウ御覽ニナッテ居ルカト云フコトヲ心配シマス、英國倫敦ノ海軍縮小會議デハ、辛ウジテ列國間ガ餘り満足モナク、サリトテ又脱退セラルト云フコトモナク、御互ニ世界永遠ノ平和ニ一步ヲ進メントスルノ誠意ヲ持チ、又同時ニ國民負擔ノ輕減ヲ期セントスル趣旨ヲ以テ、遂ニ協定ニ相成リマシタガ、之ニ付キマシテハ、只今ハ、帷幄上奏權ヲ侵害シタリトシカセヌトカ云フヤウナ議論等ガ相當ニゴザイマシテ、私ハ心配シシテ居ル一人デゴザイマスルガ、今度ノ其帷幄上奏ノ權、憲法論ノ如キハ是ハ國內間ノ議論デ暫ク措クトシマシテ、對外的ニ此度ノ軍縮協定ハ我ガ國防ニ缺陥ヲ來シテ居ナイカト云フコトニ付テハ、私ハ分リマセヌ、事實、言フト國防ニ直接正面シテ居ル機關ガ此協定ニ不同意デアッテ、其職ヲ賭シテモ此軍縮ノ協定ニ反対デアル人ガアルト云フコトヲ承知シテ居リマス、茲ニ於テ非常ニ私ハ寒心ニ堪ヘマセヌ、其軍當局ノ意見ハドウ云フコトデゴザイマスルカ承知イタシマセヌガ、私方素人デ知ッテ居リマスルダケデモ、我國ノ潛水艦艇ノ現有勢力ニ制限ヲ受ケタト云フヨトハ、非常ニ私ハ寒心イタシテ居ル次第デゴザイマス、ナゼナラバ多年ノ海軍ノ研究ヲ以テ……

御感想デゴザイマセウカト云フコトヲ以テ、此場合ニ、此國難トモ申スベキ此場合配イタシマスノハ、世界的大不景氣デアリマス、世界的不景氣ニ直面シテ居ル、今リマス、第三ノ國難トモ申スベキトモ私ハ心ヤ英國モ獨逸モ亞米利加モ伊太利モ、佛蘭西ヲ除クノ外ハ、失業者ガ續出シテ居ル形勢デゴザイマス、其失業者ノ多イコト……多少ガ不景氣ノ何ヨリノ「バロメーター」デゴザイマシテ、之ガ對策コソ急務中ノ急務ト心配イタシマスルガ、サウ云フコトハ何等ノ御計畫モナク、却テ不斷ノ天下泰平のニ教育費負擔ヲ計畫サルルト云フコトガ……此二ツノ、即チ國防ノ脅威ヲ受ケテ居ルデハナイカ、此世界的大不景氣ニ面シテ居ルデハナイカト云フコトガ、丁度恰モ濱口大臣ガ金解禁ヲ施行スル前後ニ當ラレタアノ熟誠ナル御企畫ノ如クアリタイト存ジマスルニ拘ラズ、尋常不斷ノ此教育費増額案ガ出來マシタヂヤナイカト申スコトガ私ノ伺タクテハ……協定ヲ承認セラルト云フコトニナリマシテハ、國民負擔ノ輕減ト云フコトモ亦最モ重キヲ置カレテ居ル事項デアルト存ジマス、ソレガ國民負擔ノ輕減ヲ期セラルト云フ旺盛ナ御精神ニ、忽チ更ニ……是マデ從來國庫ガ七千五百万圓ヲ負擔シテ居ルニ拘ラズ、忽ニシシテ一千萬圓ヲ又姓ニ投ゼラルト云フ其御真意ガ能ク了解シタルト云フ旺盛ナ御精神ニ、忽チ更ニ……苦シムノデアリマス、サウシテ其教育費ノ一千萬圓ヲ増額スレバ、依ツテ財政ノ餘裕ヲ生ズル、ソレデ其餘裕ヲ以テ地方稅ノ輕減ヲ充テルト、斯ウ云フコトニナッテ居リマスルガ、不幸ニシテ私ハ、其私ノ計算スル所ニ依リマスルト、其教育費國庫負擔金増額ヲ爲シテモ地方財政ニ餘裕ヲ生ジ地方稅ノ

輕減ニナルト云フ計算ガ出マセヌ、何トナレバ文部省ノ統計ニ依リマスルト、市町村ハ毎年就學兒童ガ増加シテ、一箇年四千級カラノ學級ヲ増加セネバナラヌ、之ニ對シテ約六百五十万圓ダケ年々増加スル、即チ一町村ニ對シテハ五百五十圓バカリデアル、斯ウ云フ風ニ増ス一方デアル、ソレカラ政府ハ過日モ湯地君カラ質問ガアリマシタ通リニ、地方町村等ニ産業獎勵、森林獎勵、其他多クノ獎勵等ノ施設トシテ農林省ダケデモ四百万圓以上カラヲ出しシテ居ラレマシタガ、ソレハ經費節減緊縮ノ爲ニ削減セラレマシタ、尙ホ商工省ニ於テモ百万圓近ク節減セラレマシタ、サウンスマスルト、サウシテ尙ホ失業者救濟ノ外ニ地方ニハ、地方ニ起債ヲ許シテ其失業者ノ救濟ヲ圖ラシムルト云フコトノ御說モアルヤウデアリマス……御計畫モアルヤウデアリマス、其他地方ニ於テハ矢張リ町村學校等ニ於テモ、各、施設ノ不完備ヲ感ジテ、今日ノ國民ハ合理化ヲ教育ニモ町村經濟ニモ研究シテ居リマスルカラ、幾ラモサウ云フ施設ヲ待ツテ居リマス、サウ云フコトカラ計算シマスルト、此増額ヲシテモ地方稅ヲ輕減スルダケノ餘裕ハナイヤウニ考ヘマスルガ、此點ハ文部大臣ニ伺ツテ宜シイコトデアルト存ジマス、ソレカラ詰リ此教育費全額負擔ヲスルノ目的デアルト云フヤウナコトニ伺ツテ居リマスガ、此教育費ノ中ノ町村學校ノ教員俸給費ノ現額ハ約一億八千万圓ト云フコトデゴザイマスルガ、サウスルト年々一千万圓ヅツ捻出スルト云フコトハ大藏省ニ一千萬圓ヅツノ增加ヲセラレマシテモ、今ヨリ十年以上ハ掛カルコトニナリマス、斯ウ云フ悠久ナ、斯ウ云フ氣永イコトヲ御ヤリニナル積リデゴザイマセウカ、又毎年一千万圓ヅツ捻出スルト云フコトハ大藏省ニガ政黨擴張ニドウカスルト紛ラハシク誤解ガアリ易イヤウナ法案デ先程申シマス通り

デゴザイマスノデ、先般經費節約ノ爲ニ  
ノ總理大臣ハ金解禁準備トシテ熱誠ナル御  
精神カラ自カラ奮<sup>ツ</sup>テ、自分ガ奮<sup>ツ</sup>テヤラナ  
ケレバイカヌト云フ御精神カラデアリマシ  
タラウ、官吏ノ俸給ノ節減ヲ圖ラレマシク、  
其時官吏中デ甚ダ帝國官吏トシテアルマジ  
キ振舞ノヤウニ伺ヒマシタガ、何カ「スト  
ライキ」見タヤウナコトモアッタヤウニ伺ヒ  
マスガ、段々内情ヲ聞イテ見マスルト、是  
ハ民政黨ノ政綱ノ教育費増額ノ爲ニ其財源  
ヲ捻出センガ爲ニ我ミノ俸給ニマデ及ンダ  
ト云フヤウナ感ジヲ持チマシテ反對ヲシタ  
ト云フコトモ聞イテ居リマスル、此邊ノコ  
トハ餘程御考慮ヲ要スルコトト思ヒマス  
ル、誠ニ紛ラハシイ法案デ、現ニ衆議院議  
員選舉法ノ百十二條ナドニハ……百十二條  
ノ第二項デゴザイマスカ、學校ヤラ會社ヤ  
ラニ約束ガマシイコトヲスル候補者又ハ運  
動者ハ罰セラレルコトニ……選舉法ニ違反  
スルコトニナ<sup>ツ</sup>テ居リマス、是ハ此法律ハサ  
ウ云フコトデハゴザイマセヌガ、心持カラ  
シテ居リナガラ斯ノ如キコトヲ、此法案  
ヲ急イデ御出シニナリマシタト云フ其心情  
ヲ伺<sup>ツ</sup>テ置キマス

トガ選舉ニ何カ關係ノアル如キ御疑ヲ以テ  
御質問ニナリマシタガ、是ハ私ハハキリ申  
シテ置キマス、私ノ名譽ノ爲メ又現内閣ノ  
名譽ノ爲ニ明瞭ニ申シテ置キマス、私共時  
局ノ極メテ重大ナル今日ノ場合ニ於テ政治  
ノ局ニ當リ、上下ニ對シテ重大ナル責任ヲ  
有シテ居リマス、苟モ間違タル考ヲ以テ、  
邪念ヲ以テ政治ヲスルト云フコトハ斷ジテ  
考ヘテ居リマセヌ、國家ノ爲メ最モ必要デ  
アリ、緊切デアルト確信ヲ致シマシテ、總  
テノ政治ヲヤツテ居リマス、此度ノ提案モソ  
レト同様デアリマス、此動機ニ付テノ御疑  
念ハ御無用ニ願ヒタイト存ジマス、其次ニ  
倫敦海軍協定ノコトヲ御引用ニナリマシテ、  
國防上脅威ヲ感ズル今日ノ場合ニ於テ、何  
故ニ斯ナル法案ヲ出シタカト云フ御質問  
デアリマシタガ、倫敦ノ軍縮會議ト此法案  
トハ全然別問題デアリマス、ノミナラズ此  
度ノ協定ニ依リテ、國防ガ脅威ヲ感ジテ居ル  
トハ、私ハ考ヘテ居リマセヌ、ソレハ御意  
見デアリマセウケレドモ、御意見ト致シマ  
シテモ此法案トハ全然關係ガナイト存ジマ  
ス、第三段ノ世界的大不景氣ノ際ニ、何ガ  
故ニ斯ウ云フ法案ヲ出シタカト、斯ウ云フ  
御質問デアリマシタケレドモ、是亦餘り大  
シタ關係ハナイヤウニ存ジマス、或ハ御質問  
ノ御趣意ガ産業ノ振興デアルトカ、失業  
ノ救濟デアルトカ云フ如キ、他ニ爲スベキ  
方法ガ澤山アルニ拘ラズ、特ニ此問題ヲ此  
議會ニ出シタノハ或ハ不適當デナカト、緊  
要デナイデハナイカト云フ意味デアッタカ  
モ知レマセヌ、如何ニモ産業振興ハ必要デ  
アリマス、失業救濟モ固ヨリ必要デアリマ  
ス、從テ此産業振興ノ爲メ失業救濟ノ爲ニ、  
政府ハ出來ルダケノ努力ヲ致シマシテ、豫算  
ニ於テモ相當ニ計上シテアリマス、又豫算  
ニ出シテアリマス分ダケデハ必シモ十分ナ  
リトハ考ヘマセヌ、此上トモ産業振興失業  
救濟ノ爲メ出來得ルダケノ努力ヲスル積リ  
ニアリマス、而シテ先刻モ森田君ノ御質問

ニ對シテ御答ヲシマシタ通り、今日地方稅ノ負擔ハ隨分重イノデアリマス、其結果トシテ地方民殊ニ農村ノ疲弊ハ誠ニ同情ニ堪ヘヌモノガアリマス、從テ苟モ此際財政ニ餘裕ガアリマシタナラバ、先づ以テ地方稅ノ負擔ノ輕減ニ充テルト云フコトガ目下ノ急務デアルト信ジマス、今日ハ時局重大デアルカラ負擔ノ輕減ヲスル餘地ハナイデハナイカ、又其必要ガナイデハナイカト云フ御議論デアルナラバ、是ハ意見ノ相違ニアリマス、私共ハ左様ニ考ヘマセヌ、負擔ノ輕減ト云フコトハ最も必要デアル、殊ニ地方稅ノ負擔ノ輕減ガ取分ケ必要デアル、斯様ニ信ジマシタノデ、此議會ニ此案ノ成立ヲ願フニ提案ヲシタノデアリマス、第四、第五ノ御質問ハ文部大臣、大藏大臣トニ對シテ爲サレマシタカラ、兩大臣カラソレゾレ御答ヘガアラウト思ヒマスガ、私最後ノ御質問ニ對スル大要ダケヲ特ニ申上げテ置キマス、全額負擔ト云フコトハ、到底急ニ出來ルモノデナイデハナイカ、斯様ノ御質問デアリマス、教員俸給ノ全額負擔ノ主義ヲ支持シテ居ルト云フコトハ、衆議院ニ於ケル議員ノ御質問ニ對シテモ答辯ヲ致シテ置キマシタガ、是ハ主義デアリマス、而シテ之ヲ實施スルガ爲ニハ財政ノ緩急ヲ計り、又其時ニ於ケル所ノ財政以外ノ状態、例へバ民間ノ經濟ノ事情、社會的ノ状態、國際的ノ事情、國務各般ノ事情ヲ能ク比較研究ヲ致シマシテ、其時ニ於ケル政府ガ最モ急ナリト認ムルモノカラ實行スル積リデアリマス、考デアリマス、從テ今日具體的ニ提案イタシタモノハ、一千万圓増額ノ案ダケデアリマス、然ラバ明年又一千万圓ヲ増額スルカ、明後年モ亦増額スルカト云フ御質問デアリマスレバ、左様ニハ考ヘテ居リマセヌ、ソレハ明年度ノ財政計畫ヲ立テル場合ニ於テ、今日何ガ最モ急デアルドウ云フコトヲスルコトガ一番必要デアルカト云フコトヲ、前申シマシタ各般ノ事情ヲ比較研

究イタシ、緩急ヲ計フテ、其時ニ國庫ニ餘裕

ガアリマスナラバ、斯ウ云フコトヲスルト

云フ、其時ニ臨ンデ決メル考デアリマス、

從テ今年一千万圓増シタカラ、來年モ一千

万圓増ス、從テ明後年モスルト云フコトハ

考ヘテ居サマセヌ、是ハ其時ニ方ツテ緩急ニ

應ジ、必要ニ應ジテ爲スト云フコトニ御承

知ヲ願ヒマス

〔國務大臣田中隆三君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(田中隆三君) 只今總理大臣ヨ

ト恩ヒマスケレドモ、念ノ爲メ亂カラモ一

言附加ヘテ置キマス、此教育費ノ金額負擔

云々ト云フコトハ、衆議院ニ於キマシテモ

相當問題ニナリ、新聞紙等ニモソレはト議

論ガアルヤウデアリマスガ、申上ゲル迄モ

ナク、現行ノ教育費國庫負擔法ハ、明瞭ニ

教員俸給ノ一部ト云フコトヲ書イテアルノ

デアリマシテ、其法規ノ下ニ此度一千萬圓

ノ増額ノ改正ヲ提出シタ譯デアリマシテ、

此法案ト直接關係ハゴザイマセヌ、サウシ

テ、此事實ノ上カラ見マシテモ、此度一千

万圓ノ増額イタシマスルト云フト、凡ソ教

員俸給ノ五割四分位ニ相成ツタ譯デアリマ

ス、義務教育費ノ教員俸給デゴザイマス、

其五割四分位ニ當ルト云フコトハ、既ニ先

年此負擔額ヲ七千万圓ニ致シマシタ時ニ、

既ニ五割四分ニ當ルト云フコトハ、其後七千五

百万圓ニ致シマシタ時ニ五割五分ニ當ルト

居ルノデアリマス、其後段々ニ其俸給額ガ

殖エテ参リマスカラ、其率ハ段々減テ参リ

マシテ、今度一千萬圓ノ増額イタシマシテ

モ、只今申上げマスル昭和元年ノ、所謂

千萬圓ノ時ニ五割四分ト云フ位ノ程度ニ居

スルト云フ此法規ノ下ニ於テナツテ居ル

譯デアリマスルカラ、金額云々ト云フコト

改メテ、其御協賛ヲ求メル意味デナイト云

フコトダケヲ御了承ヲ願シテ置キマス

〔中村純九郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 中村君ハ議席ガ

變ツテ居リマスカラ、御席ニ御戻リヲ乞ヒ

タイト思ヒマス……中村君ノ御席ガ變ツテ

居リマスカラ、自分ノ御席ニ御戻リヲ乞ヒ

タイト思ヒマス、中村君再び御質疑ヲナサ

ルノデスカ

○中村純九郎君 左様デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

〔中村純九郎君〕 文部大臣……政府ハ此増

額ヲシマスルト、市町村ニ餘裕ガ出來テ、

從ラテ地方稅ノ輕減モ出来ルト云フ意味ニ

仰シヤラレマスガ、先程壇上デ私ガザット計

算イタシマシタ所ニ依リマスルト、既ニ此

就學兒童ノ增加ノ爲ニ、年々市町村ハ學校

ノ學級數ハ四千級カラ年々殖ヤサネバナラ

ス、ソレニ要スル概算ハ六百五十萬圓モ年

年殖エテ、之ヲ市町村各一万二千ニ計算イ

タシマスルト五百五十萬圓位ニナリマスル

ガ、サウスルト既ニ既ニ一千萬圓ノ方カラ

六百五十萬圓位引カナケレバナリマセヌ、

加フルニ先般カラ地方補助金等ノ經費ガ節

減サレテ……右ノ手デ市町村ノ補助金等ヲ

奪ッテ、左ノ手デ與ヘルト云フヤウナ結果ニナ

リマシテ、到底此一千萬圓ニ地方ノ財政ノ

得タイト思ツタ財源トヘ、何等直接ノ關係ハ

依リマシテ相當ノ財源ヲ得タイ、斯ウ云フ

二ツノ考カラデアッタノデアリマスガ、併ナ

ガラ此義務教育費國庫負擔ノ一千萬圓

考ヘマシタノハ、一つハ政府ノ緊縮政策ヲ

徹底セシメタイト云フノト、一方ニハ是ニ

モノト見テ差支ナイト思ツテ居リマス

充當セシムルト云フノハ其意味デゴザイマス

及ボサヌ譯ニナリマス、全部之ヲ減税ニ

當セシメテモ、各市町村ノ施設計畫シテ居

リマスル所ノ教育上ノ實際ニ、何等ノ關係

ヲ及ボサヌ譯ニナリマス、

モノト見テ、教育上ノ施設ノ收支計算ハ名

市町村共出來テ居ルノデアリマス、其出來

タ所ノデス、今度ハ新タニ八千五百万

圓……各市町村ガ豫定シテ居リマスル七千

五百萬圓ノ上ニ、一千萬圓ノ餘計ナ金額ガ、

各市町村ニ配付セラレル譯デアリマスルカ

ラ、其一千万圓ト云フモノヲ全部減税ニ充

當セシメテモ、各市町村ノ施設計畫シテ居

リマスル所ノ教育上ノ實際ニ、何等ノ關係

ヲ及ボサヌ譯ニナリマス、

充當セシムルト云フノハ其意味デゴザイマス

〔國務大臣井上準之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(井上準之助君) 中村君ノ御質

問ニ對シマシテ簡單ニ御答イタシマスガ、併ナ

減税問題ト義務教育費國庫負擔ノ一千萬圓

トニ何カ關係ガアルカト云フ御質問デアリ

マシタガ、政府ガ減税ヲ實行イタシタイト

考ヘマシタノハ、一つハ政府ノ緊縮政策ヲ

徹底セシメタイト云フノト、一方ニハ是ニ

モノト見テ差支ナイト思ツテ居リマス

〔高橋琢也君演壇ニ登ル〕

○高橋琢也君 只今問題ニナツテ居リマス

ル此市町村ノ義務教育費國庫負擔、此法案

ハ先般濱口總理大臣ハ此演壇ニ於テ、今回

提出ノ諸案件ノ中デ、特ニ御留意ヲ願ヒタ

イノハ、此義務教育費國庫負擔金、此案デ

アルト、斯ウ仰シヤラタノデゴザイマスガ、

其節各方面ニ付テノ質問ヲ致ス積リデア

タ、政府トシテハ非常ニ此法案ニハ重キヲ

提出ノ諸案件ノ中デ、特ニ御留意ヲ願ヒタ

イノハ、此義務教育費國庫負擔金、此案デ

アルト、斯ウ仰シヤラタノデゴザイマスガ、

其節各方面ニ付テノ質問ヲ致ス積リデア

タ、政府トシテハ非常ニ此法案ニハ重キヲ

提出ノ諸案件ノ中デ、特ニ御留意ヲ願ヒタ

イノハ、此義務教育費國庫負擔金、此案デ

アルト、斯ウ仰シヤラタノデゴザイマスガ、

其節各方面ニ付テノ質問ヲ致ス積リデア

デアリマスルカラ、ソレラノモノハ如何ナ

ル財源ニ依ツテ、又其增加部分ヲ支出スルカ

ト云フコトハ、市町村ノ色ニナ事情ニ依ル

コト思ヒマスケレドモ、今年度ニ於テ一

千万圓、又來年モ無論八千五百万圓、此中

一千萬圓ハ始終殖エテ行ク譯デアリマス

カラ、其效果ハ今年減税ヲ致シマスレバ、

其減税ノ效果ハ來年ニモ、來々年ニモ及ブ

モノト見テ差支ナイト思ツテ居リマス

〔高橋琢也君演壇ニ登ル〕

○議長(公爵徳川家達君) 高橋琢也君

〔高橋琢也君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(井上準之助君) 中村君ノ御質

問ニ對シマシテ簡單ニ御答イタシマスガ、併ナ

置イタシマシタ所ニ依リマスルト、私ハ豫算其他ニ付テ曩

ニ通告シテ置キマシタノデゴザイマスガ、

アルト、斯ウ仰シヤラタノデゴザイマスカ

ラ、政府トシテハ非常ニ此法案ニハ重キヲ

提出ノ諸案件ノ中デ、特ニ御留意ヲ願ヒタ

イノハ、此義務教育費國庫負擔金、此案デ

アルト、斯ウ仰シヤラタノデゴザイマスガ、

其節各方面ニ付テノ質問ヲ致ス積リデア

タ、政府トシテハ非常ニ此法案ニハ重キヲ

如ク無イカノ如ク、何方へ付イテ宜イカ分  
大藏大臣ノ御答辯ニ見ルト關係ガ有ルカノ  
ラヌヤウナ御答辯デゴザイマシタ、シテ見  
レバ少クモ是ニ關係ハアツタノデアラウト  
思フ、政府ハ是ホド必要ナモノト思テオ  
出デニナルナラバ、何故ニ僅ニ一千万圓位  
ノ金ヲ捻出スルノニ下ウシテ行政整理ヲ御  
行ヒニナラナカツカ、減給ノコトハ私甚ダ  
感服シナイ、殊ニ司法官ノ如キハ之ヲ優遇  
シヤウト云フノハ宿題ニナッテ居ルト聞イ  
テ金ヲ捻出スルノニ下ウシテ行政整理ヲ御  
行ヒニナラナカツカ、減給ノコトハ私甚ダ  
感服シナイ、殊ニ司法官ノ如キハ之ヲ優遇  
大不祥事ト云フモノヲ現ニ豫算委員會デ私  
ハ舉ゲテ當時ノ若槻總理大臣ト朝ノ十時カ  
テ午後ノ四時マデ一騎打ヲシタコトガアル  
ル、此忙ガシイ而モ若槻内閣ノ當時既ニ七  
司法官ハ多忙デアルト云フコトヲ聞イテ居  
リマス、殊ニ今回ノ五大疑獄、其他共産黨  
事件、又今回ノ總選舉ニ付テノ選舉違反ト  
云フモノハ前代未聞ト聞イテ居ル、實ニ澤  
山ナ數デアル、是デヤ司法官ハヤリ切レハ  
シマスマイト恩ビマス、故ニ通常ノ普  
通ノ事件ハ餘程停滞シテ居ルト云フコト  
ハ、既ニ新聞ニモ出テ居ル、ソレ程ノ忙シ  
イ司法官ニ向シテ、忙シカラウケレドモ給料  
ハ減スゾヨ、是ハ誰モ承知ハ出来ナイノハ  
當リ前ノ話デ、コンナコトハ、行政整理ノ  
上デヘニ行政整理ト云フコトハ必シモ金  
ヲ減スト云フノガ目的デヤナイ、無用ナモ  
ノヲ止メル、詰リ行政整理ナルモノハ、謂  
ハバ人事行政ノ合理化デアラウト思フ、其  
合理化ヲスレバ或場合ニハ殖ヤス人モア  
ル、減ス人モアラウシ、罷メル人モアラウ、  
併ナガラ官吏ト云フモノハ少クモ年々殖工  
テ來ル、ソレハ何處ニモ定員ハアル、ケレド  
モ、何トカ彼トカ名ヲ附ケテ役人ハ年々殖  
ヤシテ行ク、三年若クハ四年ニ一度ハ掃除  
ヲシナケレバナラヌ筈ノモノナノダ、當リ  
前デモ掃除ヲシテ減スコトガ出來ル、況ヤ  
斯ウ云フヤウナ經濟界ノ困難ノ時、既ニ金

合理化ヲシテ財界ノ善處策、既ニ財界ノ不合理化ノ爲ニハ總理大臣ハ此席ニ於テ産業ノ解禁ニ陥リタノハ金解禁後ノコトデアル、金解禁ノ直接ノ原因モアリマセウ、又海外一般ノ不景氣ノ影響モアリマセウ、何レニシテモ金解禁ニ付テ過日モ其コトヲ此處デ仰セニナツテ居ル、金解禁後ノ財界ノ善處策ノ對策ト云フコトヲ……後ヲ善クスルト云フナラバ、既ニ金解禁ニ依テ惡カッタ、是ダケノ失策ガアツタ、ソレヲ尻拭ヒヲルト言ヘバ、後ヲ善クスルノデアル、後ヲ善クスル爲ニハ産業ノ合理化モ定メシ現内閣デ行ハレルデゴザイマセウ、併シアノ翻譯字ノ合理化ガ、天カラホイト降リテ來タヤウナヤリ方デハ到底行ケルモノデナイ、獨逸邊リデハ四十年モ前カラヤンデ居ルカラ、アノ合理化ガ出來ル、是ハ獨逸ノ各産業ノ組織ヲ見テモ直ぐ分ル、日本デ今組織的ニシスティマチックニ之ヲヤルコトガ出來マスカ、ソレ所デナイ、各工業組合モ知ラナイダラウト思フ、ソレヲ唯合理化デヤル、遠イ話ナンデ、若シ是ガ分ッテモ、事ニ依ルト當局ノ御方モ、實ハサウ聞イテ居ルンダト云フヤウナコトデ、十分ニ御分リニナラヌ御方ガアリハセヌカト私ハ思リテ居ル、ソレヲ政府モ御承知ノコトデアラウト思フ、ソレヲ以テ遠イ仕事ヲスル、是ハ逆モ追付ク話デヤナイ、ソレ故ニ今日はダケノ金ヲ出サウト云フ、是ハ行政整理ヲナサルニ限ルト思フ、又ナラヌノヘドウ云フ譯デアルカ、之ヲ一ツ私ハ承ハリタイ、行政整理ハナサラヌノデアルカ、爲シ得ザルノデアルカ、之ヲ承ハリタルカ、爲シ得ザルノデアルカ、之ヲ承ハリタイ、今日ノ事情トシテハ出來ナイ、物價ガ高クテ官吏ガナカノ、生活ニ困ル、斯ウ学校ノ生徒ナドハ各地方缺食スル者モ多イ、是モ私ハ承知シテ居リマス、ソレ故ニ此一千万圓ヲ増シテヤルト云フコトハ、大

變大地方ニ對シテハ禱言ニナメテニヤウ  
リマスカ、政府ノ言ハレルノハ三十万ダト  
私ハ聞イテ居ル、而シテ昨日ノ新聞紙ニモ  
建築ノ從業員ダケデモ六十万人カラ失業者  
ハアルノデアル、是ハドツシガ本當力分ラ  
ス、ドツシガ本當力分ラスケレドモ、我ガ帝  
國ニハ國勢調査モアリ、又統計調査モゴ  
ザイマスケレドモ、不幸ニシテ肝腎ナ失業  
ノ統計ト云フモノガ、マダ出來テ居ラナイ、  
今回モ現ニ勞働ノ統計ナドハ今度初メテナ  
サルヤウデアルガ、併シアノ僅ナ金デ以テ  
ドウシテ實際ノ統計ガ出来ルカ、況ヤ失業  
保険、是ガナイ、失業保険、社會保險ト云  
フモノハゴザイマスマイ、ソレガ無クチヤナ  
尙ホ分ルカドウカ、職業紹介所ヲ拵ヘル、  
誠ニ爪ノ垢程ノ錢ヲ以テ、職業紹介所ヲ徹  
底的ニヤラウト云フテモ出來ルモノヂヤナ  
イ、社會政策ニ付テハ應急策、根本策ト云  
ウモノヲ御立テニナル、下ウ云フコトヲ御  
立テニナルカ知ラヌガ、僅ニ六十一萬九千  
二百餘圓ト云フヤウナ金デ以テ、ソレデ以  
テ失業ノ救濟ノ補助ヲスルト云フ、之ヲ各  
公共團體ニ分ッタラ幾ラノ金ニナリマスカ、  
ソレハ糟ホドニモナリハシナイ、既ニ昨  
年、時ノ政府ハ救護法ヲ出シテ居ル、其救  
護法ナルモノハ本年度デ實行スルヨリニ約  
束ヲシテ居ル、然ルニ政府ハ此失業ノ盛ナ  
ル、而モ失業者ノ多イ爲ニ思想ハ日ミニ惡  
化スル、泥棒ガ毎日殖エテ來ル、甚シキハ、  
物ヲ引ク攫テ食シテ居ル、斯ウ云フヤウナ有  
様、地方ノ當局ハドウ云フヤウナ手段ヲ執  
何處ノ店ヘモ飛込ンデ勝手ニ其處ニ在ル  
ガ、非常ニ地方官ハ苦心ヲシテ今應急策ヲ  
講ジヤウトシテ居ルト云フコトデアル、斯  
ウ云フヤウナ有様デアル、今日生活難ト云  
フモノハ政府ノ御役人バカリヂヤナイ、全

イ失業者ヲドウシテ救濟スルカ、肝腎ナ救護法ガ出テ居ルテ、英國アタリデ以テ三百四十五年モ前ニ初メテ救護法ヲ出シテ居ル、日本ガ初メテ出シタ救護法ガ今年ハ實施スルト言ウテ置イテ出來得ナイ、ソレヲウチチャッテ置イテ、片方テ義務教育費一千万圓、是ハドウモ先刻總理大臣ガ緩急ヲ圖テオヤリニナルト云フ御答辯ニ對シテモ矛盾シタモノデアルト、斯ウ私ハ考ヘル、政府ノ御所見ハ如何デスカ、之ニハドウカ納得ノ出來ルヤウナ御答辯ガ戴キタイ、ソレカラ此義務教育費ヲ捻出スルガ爲ニ、豫算ニ甚ダ好マシカラザル更正ヲ行シテオイデニナルト思フ、豫算ハ必ズ帝國議會ノ協賛ヲ得ナケレバナラヌコトハ誰モ知シテ居ル、六十四條ニアル、ソレカラ議會解散ノヤウナ場合ニハ前年度豫算ヲ行ハナケレバナラナイコトハ七十一條ニチヤント明文ガアル、今年ハ其議會解散ノ後デアル、前年度豫算ヲ施行シナケレバナラヌ、其前年度豫算ナルモノヲ施行スルト云フ時ニ於テ、前年度豫算ハ前年度デ法律ニナツテ居ル、チヤント議會ノ協賛ヲ經テ居ルカラ、ソレハ宜シイ、然ルニ殊更ニ政府ハ實行豫算ト云フモノヲ、而モ昭和四年度ノ豫算ヲ今年ハ實施セラレレヲ昭和五年度ノ實行豫算ナルモノガ出来テ居ル、併ナガラ實行豫算ハ是ハ別ノモノガ何處ニアルカ、私ハ憲法ノ中ヲサデ、施行豫算ノ範圍内デヤツテ居ルト、斯ウ仰シヤル、何ゾ圖ラム、中ニハ四年度ノ施行豫算ガ變更シテアル、抑、實行豫算ト云フモノガ何處ニアルカ、私ハ憲法ノ中ヲサシテ、而モ其中ニ自然ニ殖エタトカ滅タシカ云フモノハ、是ハ當リ前ノコトデアル、ソレハ始終豫算ノ上ニアル、殊更ニ豫算ノ收入ヲ殖ヤシタリシテ居ル、是ハ驚ク、現

二山林ニ對スル豫算、即チ森林收入、森林  
收入ハ昭和四年デハ四千六百三十万圓、端  
數ハ姑ク措イテ、所ガ昭和五年度ノ豫算ヲ  
見ルト、實行豫算トシテ四千七百六十二万  
八千百二十七圓、是ハドウシタノデスカ、  
私ハ或ハ是ハ追加豫算ガアツテ、追加豫算ト  
合シタモノカト思フタラサウデナイ、追加豫  
算ノ部ニハソレハゴザイマセヌ、サスレ  
四年度ノ施行豫算デモナク、全ク別物ガ出  
テ居ル、此様ニ收入ヲ殖ヤシテ行カナケレ  
バ、此教育費が出て來ナイ、斯ウ云フ點カ  
ラ來タモノヂヤナカラウカト私ハ思フノデ  
アリマス、ソレダト餘り捨出ノ上ニ御無理  
ガアルト私ハ信ズル、此御無理ヲナサル位  
ナラバ、私ハ此教育費ノ補助増額ヨリ一層  
大切ナ、今謂フ失業救濟ノ方ニ、之ヲ御廻  
シニナラナケレバナラヌモノデアラウト信  
ジテ居ル、失業救濟ノ方ハマルキリ其應急  
策モ根本策モ、御唱ヘニハナツテ居ルガ、御  
立テニナツテ居ラヌヤウニ思ハレル、ソレ故  
ニ私ハ何方ガ重イカ、人間ハズンヽ死ン  
デモ宜イ、失業者ガ段々殖エテモ宜イ、家  
族ノ自殺ガ、一家學テ家族ガ自殺スルノ方  
澤山出來ヤウト、或ハ泥棒ガ殖エヤウト、  
又社會ガ悪化シヤウトモ、ソソナコトハ構  
ハヌト仰シヤラレバ致方ガナイ、所謂何  
ヲカ言ハシヤデアル、マサカ苟モ政府トシ  
テハサウ云フ考へハナイデアラウト思フ、  
サスレバ私等ノヤウナ斯ンナ愚鈍ナ頭ニ分  
ラヌコトガアルノデアル、分ラスヤウニシ  
テ戴キタイ、私ハ色ニ伺ヒタイコトガアル  
ガ、今日ノヤウナ時間ノナイ、又忙シイ時  
ニ彼此レ長ク申上ゲルノハ甚ダ相濟ミマセ  
ヌカラ、極ク簡單ニ而モ其中ノ緊急ナコト  
ダケヲ申上ゲタノデスカラ、之ニ對シテ納  
得ノ行クヤウナ御答辯ヲ戴キタイ

付キマシテハ、昭和四年度ノ實行豫算ヲ成イタシマスル時ニモ、又昭和五年度ノ豫算ヲ作りマス時ニモ、出來得ル限り經費ノ節約、財政ノ緊縮ニ努メマシテ、各省トモソレハ相當ノ金額ヲ捻出ヲシタノアリマス、尙ホ將來ニ於テモ政府ハ其點ニ付テハ相當ノ考ヲ有ツテ居リマス、是ハ先日モ議員ノ御質問ニ對シテ御答ヲシマシ通リ、今日官廳ノ行政事務執行方法等ニ付キマシテハ、尙ホ十分ニ改善ノ餘地ガアラウト信ジマス、ソレ故ニ政府ハ出來得ル限り行政ヲ刷新イタシマシテ、官廳ニ於ケル執務ニ付テ能率ノ増進ヲ圖リマシテ、以テ一般ノ行政事務ヲ經濟的ニ行フ方法ニ付テハ、今後モ出來ルダケノ手段ヲ講ズル考ヘデアリマス、尙ホ今日ノ引締レル經濟界ニ適應スル考ヲ以チマシテ、官業ノ合理化ニ付テモ大イニ努力スル考ヘデアリマス、第一問ニ付テハ左様御承知ヲ願ヒマス、次ニ救護法ノコトデアリマス、如何ニモ御尤ナ御質問デアリマス、是ハ他ノ機會ニ於テモ申述ベタカト存ジマスルガ、昭和六年度ノ豫算ノ編成ノ時ニ於キマシテ、成ルベク之ヲ實行スルト云フ希望ヲ以テ十分ニ考慮ヲスル考ヘデアリマス、故ニ政府ハ出來得ル限りノ手段方法ヲ以テ之ガ施設計畫策ニ努メテ居マス、豫算ニ於キマシテモ固ヨリ十分トハ申デアリマス、故ニ政府ハ出來得ル限り相當ノ計畫ヲ立て、又金額モ計上シテアル積リデアリマス、將來ト雖モ其點ニ向テハ、此上モ十分ナル施設考究ヲ怠ラナイ方針ニアリマス、然、全國ノ都市ニ於ケル狀況ヲ考ヘテ見マスルニ、失業問題對策ノ急務ナル如クニ、地方稅ノ負擔ノ輕減頗る焦眉ノ急要スルト存ジマス、高橋君ハ能ク地方ノ状況、殊ニ農村ノ生活狀況ヲ御承知デアラ

ウト存ジマスルガ、隨分地方農村ノ生活ノ  
狀態ハ困難デアリマス、其原因ハ種々アリ  
マセウガ、主ナルモノハ負擔ガ重イト云フ  
點デアリマス、ドウ云フ點ニ於テ重イカト  
申シマスレバ、國稅タル地租ニ於テモ、亦  
消費稅ニ於テモ重イデアリマセウケレド  
モ、ソレヨリモ地方稅ノ負擔即チ例ヘバ市  
町村稅タル所ノ戶數割、府縣家屋稅ノ附加  
稅、其他或ハ所得稅、地租、營業收益稅ノ  
附加稅、或ハ雜種稅、營業稅、隨分地方稅  
ノ負擔ハ重イノデアリマス、其點ヲ出來得  
ルダケ緩和スルト云フコトガ、今日最モ急  
ヲ要スルモノト信ジマシテ、ソレ故ニ、此  
年度ニ於テ財政狀態ノ許ス限リニ於テ、一  
千万圓ヲ以テ此義務教育費ノ増額ニ充テマ  
シテ、地方稅ノ負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フ方  
針ヲ執<sup>フ</sup>タノデアリマス、救護法ノ問題ニ付  
テハ、固ヨリ其必要ヲ認メテ居リマス、從  
テ事情ノ許ス限リ明年度カラ之ヲ實行シタ  
イト云フ希望ヲ持<sup>フ</sup>テ居リマス、實行豫算ノ  
コトニ付テ御論及ガアリマシタガ、是ハ是  
迄ノ豫算ノ不成立ノ場合ニ於テ政府ガ實行シ  
テ豫算ヲ作リマスト同様ノ手續ヲ執リマシ  
タ、此間毫モ變<sup>フ</sup>テ居ナイト思ヒマス、收入  
ノ見積リニ付キマシテハ、是ハ不成立豫算  
ニ見積<sup>フ</sup>タヨリモ、最近ノ追加豫算編成ノ當  
時ノ狀態ニ鑑ミテ變更ヲ要スルモノアリト  
考ヘマシテ、二三ノ科目ニ付テ相當更訂ヲ  
加ヘマシテ、減收ノコトニシテアリマス、  
其他ノ科目ニ付キマシテハ豫算全體ヲ通ジ  
マシテ歲入見積ダケハ收入ガアルト云フ計  
算ニナツテ居リマス、尙ホ詳細ノコトハ適當  
ノ機會ニ於テ申述ベルコトニ致シマス、大  
要御答ヘ致シマス  
◎議長(公爵德川家達君) 是ニテ通告者ハ  
終リマシタ  
〔高橋琢也君發言ノ許可ヲ求ム〕

シタノデ、宜シウゴザイマス、後デヤリマスカラ此處デ打切りマセウ  
モノデゴザイマスルカラ、特別委員ノ數ヲ十五名トシ、議長ニ於テ御指名アラムコトヲ希望イタシマス、右動議ヲ提出イタシマスルカラ、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス  
**◎子爵西大路吉光君 賛成**

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

◎議長（公爵德川家達君） 林伯爵ノ本案ノ特別委員ノ數ヲ十五名トスル動議ニ御異存メマス

◎議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案特別委員

公爵近衛	文麿君	伯爵柳澤	保惠君
子爵野村	益三君	子爵西尾	忠方君
嘉納治五郎君		眞野	文二君
伊澤多喜男君		男爵紀	俊秀君
男爵斯波忠三郎君		男爵千秋	季隆君
南	弘君	湯地	幸平君
津村	重金君	鶴澤	總明君
大谷	尊由君		

◎議長（公爵徳川家達君） 日程第三、輸出補償法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和五年五月七日

貴族院議長 藤澤幾之輔

衆議院議長 藤澤幾之輔

補償法案、政府提出衆議院送付、第一讀會、商工大臣

Digitized by srujanika@gmail.com

## 輸出補償法案

### 輸出補償法

第一條 政府ハ本法施行地内ニ住所又ハ

營業所ヲ有スル者ガ内地、朝鮮、臺灣

又ハ権太ニ於テ生産、製造又ハ加工セ

ラレタル商品ヲ本法施行地ヨリ主務大

臣ノ指定スル地域ニ輸出スル爲振出し

タル荷爲替手形ヲ銀行ガ買取り之ニ因

リテ損失ヲ受ケタル場合ニ於テ當該銀

行ニ對シ帝國議會ノ協贊ヲ經タル金額

ノ範圍内ニ於テ其ノ損失ノ百分ノ七十

ヲ限度トシ之ヲ補償スルノ契約ヲ爲ス

コトヲ得

第二條 前條ノ契約ヲ爲シタル銀行ガ其

ノ契約ニ基キ荷爲替手形ヲ買取りタル

トキハ命令ノ定ムル所ニ依リ補償料ヲ

政府ニ納付スペシ

第三條 第一條ノ損失ハ銀行ガ荷爲替手

形ノ満期日ニ支拂ヲ受クルコト能ハザ

リシ金額ヨリ左ノ各號ニ掲グル金額ヲ

控除シタルモノトス

一 荷爲替手形ニ付擔保アルトキハ其

ノ處分ニ依リテ得タル金額（第五條

ノミノ處分ニ依リテ得タル金額）ヨ

リ其ノ處分ノ爲支出シタル費用ヲ控

除シタル殘額

二 満期日ニ支拂ヲ受クルコト能ハザ  
リシ金額ニ付補償還請求權其ノ他  
ノ償還又ハ支拂ヲ受ケタルトキハ其  
ノ金額

第四條 銀行ハ補償ヲ受ケタルトキハ其

ノ手形ニ付遲滯ナク償還請求權其ノ他

ノ手形上ノ権利ヲ行使スベシ但シ其ノ

権利ノ行使ニ要スル費用ガ其ノ行使ニ

依リテ得ベキ金額ヲ超ユルモノト認メ

ラルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其

ノ権利ノ全部又ハ一部ヲ行使セザルコ

トヲ得

銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ權

利ノ行使ニ依リテ得タル金額ヨリ満期

日以後ノ利息及銀行ガ其ノ權利ノ行使

ノ爲支出シタル費用ヲ控除シタル殘額

ヲ政府ニ納付スペシ

第五條 第一條ノ契約ニ於テ左ノ各號ニ

該當スル定ヲ爲シタルトキハ前條ノ規

定ハ之ヲ適用セズ

但シ償還請求權以外ノ手形上ノ權利ノ

行使及其ノ行使ニ依リテ得タル金額ノ

處分ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 荷爲替手形ノ振出し人及支拂人ガ命

令ヲ以テ定ムル資格ヲ有シ其ノ手形

ガ注文ニ依リ商品ヲ輸出スル爲振出

サレタル場合ニ限り損失補償ヲ爲ス

コトヲ得

二 損失補償ノ割合ガ百分ノ六十ヲ超

エザルコト

三 銀行ガ損失補償金ニ相當スル金額

ニ付償還ノ請求ヲ爲サザルコト

第六條 第一條ノ契約ヲ爲シタル銀行ガ

本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ

契約ニ違反シタルトキハ政府ハ契約ヲ

解除シ、損失ノ全部若ハ一部ニ付補償

ヲ爲サズ又ハ損失補償金ノ全部若ハ一

部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

第七條 主務大臣必要アリト認ムルトキ

ハ政府ハ商品ヲ輸出シタル爲受取リタ

ル約束手形ヲ銀行ガ買取り之ニ因リテ

損失ヲ受ケタル場合ニ於テ當該銀行ニ

對シ之ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ

得

前項ノ場合ニ於テハ第一條乃至前條ノ

規定ヲ準用ス

### 附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣依孫一君演壇ニ登ル〕

規定ヲ準用ス

### 輸出補償法案特別委員

候爵大久保利武君 侯爵中御門經恭君  
子爵大河内正敏君 男爵中島久萬吉君  
橋本圭三郎君 服部金太郎君  
内藤 久寛君 菊池 恭三君  
板谷 宮吉君

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
〔國務大臣井上準之助君演壇ニ登ル〕  
◎國務大臣（井上準之助君）只今議題ニナ  
ノ上協贊ヲ與ヘラレムコトヲ望ミマス  
◎議長（公爵徳川家達君）特別委員ノ氏名  
ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
〔國務大臣井上準之助君演壇ニ登ル〕  
◎國務大臣（井上準之助君）只今議題ニナ  
ノ上協贊ヲ與ヘラレムコトヲ望ミマス  
付キマシタ賠償金特別會計法中改正法律案ニ  
正案ノ趣旨ハ獨逸國等トノ平和條約ニ基キ  
マシテ受領イタシマスル賠償現金及物件ノ  
賣拂代金ヲ一般會計ノ負擔ニ屬スル國債償  
還ニ充ツル爲メ、豫算ノ定ムル所ニ依リマ  
シテ、國債整理基金特別會計ニ繰入ルル途  
ヲ開クコトデアリマス、蓋シ賠償金ハ其性  
質上國債償還ニ使用スルノガ妥當デアリマ  
スノミナラズ、我方財政ノ現狀ニ鑑ミマシ  
テ、國債償還額ヲ出來得ル限り増加スルコ

◎議長（公爵徳川家達君）日程第四、賠償  
金特別會計法中改正法律案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議  
院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和五年五月七日

貴族院議長公爵徳川家達殿 藤澤幾之輔

衆議院議長

第三條ノ三 本會計ノ資金ニシテ獨逸國

等トノ平和條約賠償條項ニ基キ昭和四

年一度以降受領スル賠償金及物件ノ賣拂

代金ノ受入額ニ相當スルモノハ豫算ノ

依ル國債償還金」ヲ加フ

第三條ノ三 本會計ノ資金ニシテ獨逸國

等トノ平和條約賠償條項ニ基キ昭和四

年一度以降受領スル賠償金及物件ノ賣拂

代金ノ受入額ニ相當スルモノハ豫算ノ

依ル國債整理基金特別會計ニ繰入ルル

等トノ平和條約賠償條項ニ基キ昭和四

年一度以降受領スル賠償金及物件ノ賣拂

代金ノ受入額ニ相當スルモノハ豫算ノ



第四百三十二號中「〇・三〇」ヲ「〇・一五」ニ改ム

第四百六十二號ノ二ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

四六二ノ三 鐵ノ筒及管

一 外徑百六十七ミリメートルヲ超エ、長五メートルヲ超エタルケーシング及其ノジョイント

ルヲ超エタルアップセットドリルバイプ及

其ノジョイント

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣井上準之助君演壇ニ登爾〕

◎國務大臣(井上準之助君) 只今議題ニ供

セラレマシタ關稅定率法中改正法律案ニ付

キマシテ大體ノ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒ

マス、政府ハ曩ニ我國現行關稅定率中徒ラ

ニ過當ナル保護ヲ持續シ、又ハ既ニ其必要

ヲ失ヒタルニ拘ラズ、尙ホ之ヲ改訂せザル

モノナキヤヲ調査イタシマシテ、之ヲ撤廢

又ハ輕減スル方針ヲ立テマシテ、適當ナル

機關ニ諸問ヲ致シマシテ慎重考究ヲ遂ガマ

シタ結果、綿織絲外三品ニ付キマシテ成案

ヲ得タノデアリマス、之ニ基キマシテ法

律案ヲ作成シ、茲ニ提出イタシマシタ次第

デアリマス、第一ハ、高粱ハ主ト致シマシ

テ、養鶏飼料ニ用ヒラレテ居ル現況ニ鑑ミ

マシテ、此關稅ヲ撤廢スルコトト致シマシ

タ、第二ハ、綿織絲ニ付キマシテハ、我國

ニ於テ製造セラレザルモノ、及び製造セラ

ルモノ其製造高寡少ナルモノハ、特殊綿織絲

トシテ之ヲ無税ト致シマシテ、其他ノモノ

ハ其需給狀況等ニ鑑ミマシテ、現行稅率ヨ

リ大體三割五分ノ輕減ヲ爲スコトト致シタ

ノデアリマス、第三、「セメント」ニ付キマ

シテ、是亦需給狀況等ニヨリ考察イタシマシ

テ、現行稅率ヲ半減スルコトトシタノデア

リマス、最後ノ鐵ノ筒及管ハ生トシテ石油

ノ採掘ニ使用スルモノデアリマスガ、内地

ニ生産ノナイモノデアリマスカラ、石油事

業獎勵ノ爲メ、之ニ無税ヲ配スルコト致

ニ對スル補助金ハ、大正十四年ノ法律デ最高年額三百万圓ヲ四百五十萬圓ニ改メテ今日マデ五年間經過イタシテ居ルノデアリマスガ、今日、此金額ヲ以テシテハ既設線及現在工事中ノ線路以外ノモノニ對シテ補助

ヲスルコトガ出來ナイ狀態デゴザイマス、

所ガ一方ニ於キマシテハ、漸次新シイ線ノ工事ヲ起ス必要ガ迫テ參リマシタノデ、此

際、五十万圓増額シテ、五百万圓ノ限度ニ

於テ補助ヲ與ヘヤウト云ノノデアリマス、

委員會ニ於キマシテハ、現在ノ朝鮮私設鐵道ノ狀況ニ付テ色々質問モゴザイマシタ

イト思ヒマスカラ、何卒御審議ノ上、御協

贊アラムコトヲ希望イタシマス

◎議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員

ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

關稅定率法中改正法律案特別委員

公爵一條 實孝君 子爵梅小路定行君

子爵八條 隆正君 男爵近藤 澤彌君

藤田 四郎君 室田 義文君

上郎 清助君

◎議長(公爵德川家達君) 本案ノ第一讀會

フ風ニ致シマシテ、本法律案ヲ採決ヲ致シ

マシタ所、全會一致ヲ以テ原案ヲ通過イタ

レタイト云フ希望モゴザイマシタ、斯ウ云

シマシタ、右御報告申上ゲマス

◎議長(公爵德川家達君) 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

メマス

◎議長(公爵德川家達君) 日程第七、朝鮮

私設鐵道補助法中改正法律案、政府提出、

衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、

鷹司公爵

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和五年五月七日

委員長 公爵鷹司 信輔

〔公爵鷹司信輔君演壇ニ登爾〕

◎公爵鷹司信輔君 朝鮮私設鐵道補助法中

改正法律案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御

提出セラレマシタル目的ハ、朝鮮私設鐵道

兩日ニ亘テ開催イタシマシテ、本法律案ガ

ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

◎子爵清岡長言君 贊成

〔公爵德川家達君〕 第二讀會ノ決議

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔公爵德川家達君〕 御異議ナイト認

メマス

〔公爵德川家達君〕 本日ハ都合上は

ニテ延會イタシタク考ヘマス、御異存ゴザ

イマセヌカ

〔公爵德川家達君〕 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔公爵德川家達君〕 次ノ議事日程ハ

本院報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ

是ニテ散會イタシマス

午後零時二十二分散會

〔公爵德川家達君〕 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔公爵德川家達君〕 西大路子爵ノ動

議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔公爵德川家達君〕 御異議ナイト認

メマス

〔公爵德川家達君〕 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔公爵德川家達君〕 支那政府

</div

